

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 2

団 体 名	SORAN HEART FESTIVAL 実行委員会			
事 業 名	第 2 回 SORAN HEART FESTIVAL			
実 施 期 間	令和 6 年 9 月 22 日			
事業の目的及び期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や観光客、出演者が会場内や周辺地域にもたらす直接的な経済効果が期待できます。 ・「小樽=YOSAKOI ソーランの街」という地域作りにおける新たな可能性を創出します。 ・小樽が「北海道の心臓と呼ばれた街」であることを市内外の人により広く知らしめるきっかけにします。 ・多くの市民が YOSAKOI ソーランに触れられる環境を作り、市民の健康増進、青少年の健全育成、市民のコミュニティ作りなどに繋げ、街の魅力拡大に貢献します。 			
実 施 額	事業費	1,076,015 円	助成額	300,000 円
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「小樽が再び北海道の心臓と呼ばれる町となる」というコンセプトのもとイベントを開催し、北海道中の YOSAKOI ソーランチームや小樽市内の子ども団体など、計 37 団体に小樽港マリナーにて演舞を披露していただきました。参加団体数は昨年と比較し倍増となりました。 ・小樽市内外の飲食店やキッチンカー計 10 店舗に出店していただき、出演者やお客様に美味しい昼食を楽しんでいただきました。 ・小樽市に籍を持つチーム「YOSAKOI ソーランチーム傾徒」や「小樽商科大学“翔楽舞”」のメンバーがボランティアスタッフの中心としてイベントの進行や運営、警備を行いました。 ・「初めての YOSAKOI ソーラン」という企画を行い、小樽市内の小学生のお子様延べ 30 人程度に踊りのレクチャーを実施し、会場で踊っていただきました。 ・駐車場や待機場所のご提供、運営費用のご協賛など、多くの地元事業者様のご協力によりイベントを開催することができました。 ・ウイングベイ小樽内で、小樽の歴史を学びながら散策するスタンプラリー企画を行い、延べ 100 人程度にご参加いただきました。 			

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

○事業の日程について

2 / 2

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
R6. 9. 22	第 2 回 SORAN HEART FESTIVAL	出演者数 500 人 観客数 1,500 人	出演者数 約 800 人 観客数 不明

○事業評価について

1. 事業の目的の達成度

・会場内の出演者、来場者の方にアンケートを行い、63 名の方に回答いただきました。集計の結果、①観覧者：出演者＝3：7②小樽在住：それ以外の地域在住＝1：9③10～20代：30～40代：50代以上＝5：4：1、と幅広い層の方が YOSAKOI ソーランに触れる機会を創出できたことが分かりました。・会場に隣接するウイングベイ小樽様にヒアリングを行い、イベント当日はイオン小樽店やテナントへの来客数が増加し、築港エリアへの経済効果の波及に繋がったことを確認できました。・参加された子供たちから、踊りに対して興味を湧いたとの声をいただき、市民の健全育成、健康増進に繋げることができました。子供の参加数も去年と比較し倍増しました。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

・昨年同様多くの方から、札幌に行かないと観ることができない YOSAKOI ソーランを小樽で楽しむことができ満足したという感想をいただきました。・イベント進行のスムーズさ、来場者への気配りなど、2 回目とは思えないレベルの高さであったとお褒めの言葉を多数頂戴しました。・不満点として、出店された飲食店が少なく感じたということと、座席の配置やロケーションの問題から演舞が見づらかったとの意見を頂戴しました。・来場者数が昨年と比較し急増したことから、ウイングベイ小樽駐車場と周辺道路で一時的な渋滞を発生させてしまった時間帯がございました。

3. 今後の事業について

・来場者や出演者、ご協力いただいた多くの方々から昨年以上に高い評価を頂戴しており、翌年以降も継続してイベント開催を行っていく予定です。・規模の拡大により駐車場など周辺へ与える影響も大きくなってきたため、来年以降は参加チーム数の限定や、二日に分けての開催なども検討してまいります。・小樽市内のお子様方から、ハート・フェスに限らず今後も踊りの機会を提供して欲しいとの声を頂戴しておりますので検討してまいります。